

平成26年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成27年 4月10日

研究・研修課題名	日本静脈経腸栄養学会・日本病態栄養学会・日本栄養士会認定の栄養サポートチーム専門療法の資格取得・更新のための学会及び講習会参加
研究・研修組織名（所属）	栄養治療室
研究・研修責任者名（所属）	平井順子（栄養治療室）
共同研究・研修者名（所属）	藤井晴美、端本洋子、長澤亜沙子、矢田里沙子、久保田明子、梅木菜津美、青山広美（栄養治療室）

目的及び方法、成果の内容

①目的

診療報酬に認められている栄養サポートチーム加算は、その専従者や専任者となるべき職種の1つに管理栄養士が挙げられている。

管理栄養士は規定の研修を終了し、経口栄養管理だけでなく、経管栄養や静脈栄養などのすべての栄養法を統合した栄養管理技術が求められている。

本研修では、診療報酬対策を念頭に院内に栄養サポートチーム（NST）専門療法の有資格者を増員し、栄養治療のレベルを向上させることを目的とする。

②方法

NST 専門療法士の資格を取得するためには、学会や研修会参加は必須である。資格更新にも各学会・研修会参加が必須であるために参加と学会発表を目指す。

第18回日本病態栄養学会・研修会参加

（2015年1月10～11日、国立京都国際会館）

管理栄養士 3名

第30回日本静脈経腸栄養学会・研修会参加

（2015年2月12～13日、神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル）

管理栄養士 3名

コメディカル 2名

第6回・第7回 TNT-D 管理栄養士更新研修会参加

（2015年8月2～3日、東京都内）

管理栄養士 1名

③成 果

第 30 回日本静脈経腸栄養学会学術集会への参加の報告と達成事項を成果として報告する。

開催日：2015 年 2 月 12～13 日

場所：神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル

参加者：薬剤師 1 名、臨床検査技師 1 名、管理栄養士 2 名

2 月 12、13 日に神戸市で開催された第 30 回日本静脈経腸栄養学会学術集会に当院から多職種スタッフが出席した。

微量元素の基礎や欠乏症についての特別講演では、経腸栄養・経静脈栄養の患者で多くみられる欠乏症を臨床症状が現れる前に改善することで患者の QOL の向上につながるということを学んだ。

胃瘻からの栄養管理、口腔内環境と栄養、薬剤と嚥下障害の関係など様々なセッションからは、多職種スタッフが経口・経腸栄養からの栄養補給のために具体的にどのように患者と関わっているのか学び、栄養管理を行う上で知っておくべき知識がまだまだ多くあることを実感できた。

がんの栄養管理に関するポスター発表では、外科的治療、化学療法、放射線治療や緩和医療など多くの発表があった。特に、栄養管理に関する演題では、がん患者の入院時のアセスメント方法、術後の栄養管理など当院のがん患者の栄養管理についても参考になるものであった。

口頭発表の聴講、ポスター発表における他施設のスタッフとのディスカッションでは、チーム医療の中で薬剤師が医師等のスタッフと連携を図り薬物療法管理を推進するなど積極的な参画が重要であることを再認識することができた。

学会に出席して、現在実践できていることを確認すると同時に、当院の NST 活動をより良いものにするために今後改善していきべき課題を得ることが出来た。